

第7回景気ウォッチャー調査研究会 議事概要

- 1 日時：令和8年5月25日（月）11：00～11：45
- 2 場所：中央合同庁舎8号館 816会議室（ウェブ会議システムを併用）
- 3 出席者
 - （1）委員（座長以外は五十音順）
宅森昭吉座長、岩下真理委員、鈴木将之委員、土屋隆裕委員、
広田茂委員、前田和馬委員、大和香織委員
 - （2）オブザーバー
岩田賢 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 副主任研究員
 - （3）内閣府
吉岡秀弥政策統括官、茂呂賢吾官房審議官、岡野武司参事官、
南早織参事官補佐、上野俊介参事官補佐、山本世津子参事官補佐

4 議事概要

「試行調査及び前回研究会の議論を受けた構成比見直し」について議論がなされた。

委員からの主な意見は以下のとおり。

○基準構成比について

- ・第6回研究会の議論を受けた基準構成比の見直しの内容については、妥当な考え方であり、賛成。
- ・対外的な説明責任として、今回見直した基準構成比やその算出に使用したソースがわかるよう、研究会の資料等を今後のためにもしっかりとHPに掲載していくべきである。
- ・新たな構成比のもとでDIがどう変化するかを確認していくべきである。
- ・地域経済の構造の変化を確認しながら、次回の基準構成比の見直しを考えていくべきである。
- ・次回の基準構成比の見直しを考えるに当たっては、タイムリーな情報を反映させていくことも必要であるが、何を構造的な変化と捉えるかということも重要な論点である。また、基準構成比の見直しは、統計の連続性や従来からの景気に敏感なウォッチャーの視点の重要性を踏まえながら、検討すべきである。

（以上）